

2024年度 中国語学科 夏期海外研修レポート

提出者：金田 啓慈

所属：中国語学科 1年次

今回の北京、及び北京外国語大学での海外研修を通して私は中国語を学ぶ方法やグローバルに人とかかわっていくことにおいて新たな視点を手に入れることができました。今回の研修に参加するまで海外へ行ったことがなく、中国語ネイティブの人と話すことも少なかったため、あらゆる瞬間で新鮮さを感じていました。特に、授業が中国語だけで行われるのは私にとって初めてだったので自然とリスニング力が鍛えられました。ですが、学生通訳や学校外でのお店やタクシーの方とのやりとりの場面は授業とは様々な点で異なり、周囲の環境音や話す速度、先生とは違い発音がはっきりされないことなどによって相手の話していることが聞き取れないことも多々ありました。中国語力の上達以外にも、中国の文化についてよく知ることができた研修でもありました。日本とは特に生活のルールが異なるように感じました。その理由は人口の多さかなと考えることもありこの研修を通じて日本にいる間には得られなかった視点が得られたと感じます。授業では中国で生活する上で使われる単語が多く紹介され、そこで日本と中国の違いについても、先生が話すことが何度かあり、それも現地で授業を受ける醍醐味の一つだと感じました。今回の研修で手に入れた視点は、将来企業に就職した際も自分の武器になると感じました。むしろ積極的にそれを生かせる企業を志したいと思いました。